社会福祉法人 北海長正会　設立50周年記念　特別企画

社会福祉法人　北海長正会　62 ISSUE　2誌合併号

円恵園×さくらの丘

広報

No.13
2026.11 発行

未来を描いてこえる



みんなでつくる
これからのさくらの丘



つながる笑顔で
もっと豊かな明日へ

この原稿にかかっているときに熊本の地震が発生しました。災害がある度に、今ある日常が当たり前ではないということを教えられます。建物の倒壊や亡くなられた方々もあり、多くの方が避難所での生活を強いられております。被害に遭われた皆様にお見舞いを申し上げますと共に亡くなられた皆様のご冥福をお祈り申し上げます。

法人の自律～つながりを求めて



社会福祉法人　北海長正会
理事長　三瓶　徹

さて、当法人の団地のお祭りへの参加協力は地域の人たちから喜んでいただいております。当法人の職員の協力がないとやれない本当に有難いと地域の人に言われます。この言葉を聞くと地域と共にあることを強く感じます。お祭りに限らず法人事業のサービスは地域の課題に向き合いながら、地域と共にあゆみ地域に支えられ今日を迎えております。

社会福祉法人の使命は、障がい者や高齢者等の制度に基づきお客様に喜んでいただけるサービスの提供により経営基盤を確立し地域にある生活課題に公益的に取り組み自律することであります。私たちは互いの繋がりにより支え支えられる関係性において自律しております。法人もまた支え支えられる関係性で自律しております。法人は個人と違う法人の有する組織という資源の力があります。それは介護サービスであり、災害時の避難場所、教育の場、交流の場の提供、地域の課題を汲み取る専門性と取り組み、空き家や休校した学校の再利用、市民スタッフとの協同事業などであります。法人の人格も人と同じように権利義務が課せられております。法人の有する人やサービスなどの資源はお客様や地域の人に喜んでいただき役に立つことで法人事業が信頼され権利義務を果たせると考えております。

法人の近況をご報告

◆桜祭り

今年の最初の屋外行事である桜祭りが天候に恵まれ好評のもとに終えることが出来ました。地域の方々やサービスを利用されているお客様やご家族にも大変喜んでいただきました。法人主体の行事であれ市民スタッフ主体の行事であれ、この地域で生活している人たちが集いつながりを持つことは地域が生きている証でもあり、地域の自律につながると思っております。

◆フィットネス事業（tomoni club）を開業

また、今年の四月から新たにフィットネス事業を開業しました。この事業は、地域の人たちの意向や北広島市のふるさと納税による補助金により開業しました。この事業の狙いは高齢化する地域住民の健康寿命の延伸と利用される方々のつながりをつくり孤立孤独の防止に寄与することです。この事業は公益的な取り組みであり法人の主体性や独自性により社会貢献できるものと考えております。

◆サービス付き高齢者向け住宅みやびの開業

七月に株式会社「雅」さんのサービス付き高齢者向け住宅「フォレスト ビュー北広島」を当法人が事業を継承することとなりました。サービス付き高齢者向け住宅「みやび」と改名し利用されているお客様には法人の資源を有効に活用していただき信頼していただけるサービスに努めて参ります。

◆四恩園の大規模修繕

また、同月から特別養護老人ホーム四恩園の大規模修繕が始まりました。それに伴いお客様は障がい者の施設に転居し、デイサービスも移転し、来年の三月まで仮住まいとなります。お客様には慣れない場所でご不便をおかけすることも多々あると思います。修繕後の四恩園を楽しみにしばらくの間ご辛抱いただければと思います。

地域の幸福度を高めるために

五十周年を期に新たな二つの事業を加えることとなりました。法人は障がい者と児童、高齢者の二十事業が地域に住む人たちの安心につながる事業として充実して参ります。さらに、住民、行政と連携し人と人のつながりを拡充し地域の生活課題に取り組み、地域住民の幸福度を高めることに少しでも地域に貢献できればと考えております。

北海長正会 事業紹介

地域サポートセンター ウェルビーイング北広島

〒061-1153　北海道北広島市富ヶ岡509-31

- 障がい者支援施設こえる北広島
- のびのびファイン／わくわくフィット
- 北広島特別養護老人ホーム四恩園
- 北広島ショートステイ四恩園
- 北広島デイサービスセンター四恩園
- こえる北広島付属診療所

北広島団地地域サポートセンター ふれて

〒061-1144　北海道北広島市白樺町1丁目8-2

- デイホームかたる
- 北広島市みなみ高齢者支援センター
- 地域交流事業ふれて

〒061-1147　北海道北広島市里見町6丁目5-1

- デイホームさとみ

北広島団地地域サポートセンター ともに

〒061-1137　北海道北広島市緑陽町1丁目2
（旧緑陽小学校）

- サービス付き高齢者向け住宅しおん
- 北広島グループホーム四恩園
- 北広島複合型サービス四恩園
- 北広島ホームヘルプサービスステーション四恩園
- 北広島訪問看護ステーション四恩園
- 北広島居宅介護支援事業所四恩園
- 地域交流事業ともに
- tomoni clubともにクラブ

地域サポートセンターみなみ

〒061-1143　北広島市南町4丁目1-1

- 障がい福祉サービス事業所みなみ
- 障がい児通所支援事業所みなみ
- 障がい者生活支援センターみらい
- 地域交流事業みなみ

〒061-1143　北広島市南町4丁目1-3

- サービス付き高齢者向け住宅みやび



法人設立50周年テーマ

「おかげさまで50年 人と人　心と心つながる喜び 支え支えられるまちづくりをともに」

～2026年　各事業所より～

おかげさまを持ちまして、私たちは法人設立から50年目を迎えました。
これまで皆様とともに積み上げてきた活動の到達点である現在の取組みを、
各事業所別に紹介します。

地域サポートセンターウェルビーイング北広島

障がい者支援施設こえる北広島

その人らしい暮らしを、これからも

障がい者支援施設こえる北広島は、障がいのある方々の暮らしを支え、地域とともに歩んできました。時代の変化とともに支援も「訓練中心」から「その人らしい暮らしの実現」へと広がり、毎日の生活そのものを大切にしています。安心して過ごせる医療や入浴、買い物の楽しみ、季節を感じる行事など、一人ひとりの「当たり前の暮らし」と笑顔を支えながら、これからも地域に寄り添い、安心と喜びのある毎日をともにつくってまいります。



ウルトラファインバブルシャワー「アラエル」を導入。心地よい入浴時間とスキンケアの充実につながっています。



メガネの洗浄や調整、購入相談を実施。見えやすさと安心を届けていただきました。



満開の桜のもと、今年も「竹山桜まつり」を開催し、地域とのつながりを育みました。



洋服や小物のお買い物を楽しみ、ご家族と選ぶひとときも笑顔にあふれていました。

のびのびファイン／わくわくフィット

専門職とともに、自分らしく輝く毎日を

のびのびファインでは、理学療法士・作業療法士が一人ひとりの心身の状態や目標に合わせたリハビリテーションを提供しています。「住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けること」を大切に、身体機能や日常生活動作の維持・向上だけでなく、お客様同士の交流や社会参加にも力を入れています。コーラスやボッチャなどの活動を通して、仲間と目標を持ち、新たな挑戦を楽しみながら、心も身体も満たされるウェルビーイングの実現を目指しています。これからも専門職による確かな支援とチームワークを生かし、お客様一人ひとりの「できる」を大切に育み、笑顔と地域とのつながりが広がるデイサービスを目指してまいります。









北広島特別養護老人ホーム四恩園

皆で力を合わせて取り組む大規模修繕工事

7月からの四恩園大規模修繕工事に伴い、四恩園法人職員総勢60人で6月27日（土）と6月28日（日）の2日間で、こえる北広島へ仮住まいをするための引っ越しを行いました。ホールやお部屋の雰囲気が変わりましたが、日々元の落ち着きを取り戻してきております。約8ヶ月後リニューアルする施設へ戻り、今まで以上にお客様が快適な生活を送る事のできる空間作りを目指してまいります。

「楽しい・おいしい・うれしい」を大切に

お客様に過ごしていただく日々の生活の中で食事・排泄・入浴の三大ケアを中心に、楽しさを感じるコミュニケーションや、敬老会、お誕生日・四季折々を感じるイベントなどちょっとだけ特別なワクワクを感じていただく機会により、うれしさやおいしさも感じていただけるよう職員力を合わせて頑張ってまいります。



北広島デイサービスセンター四恩園

「健康」「楽しみ」「つながり」 を大切に

～「また来たい」が生まれる場所を目指して～

北広島デイサービスセンター四恩園では､「健康でいること」「楽しむこと」「つながること」を大切に、お客様一人ひとりが住み慣れた地域でその人らしい生活を続けられるよう支援しています。今年度は、大規模修繕に伴う一時移転という変化の中でも、お客様に安心してご利用いただける環境づくりを進めながら、生活機能の維持や重度化予防に取り組みます。また、「また来たい」と思っていただける活動や役割づくり、ご家族や地域とのつながりを大切にし、笑顔あふれる時間を提供してまいります。







北広島団地地域サポートセンターふれて

地域交流事業ふれて

人と人とのつながりを“深め”、支え合いが循環する地域拠点へ



地域サポートセンターふれては今年度で16年目を迎えます。積み重ねてきた交流と共生の取り組みを大切にしつつ、2026年度は「既存事業の整理と深化」をテーマに、地域に根差した活動の質をさらに高めます。喫茶コーナー、子ども食堂、百歳体操、ミニ講座、市民スタッフ活動など、多様な人が集い語り合う場を、単なる「集い」ではなく、住民が役割を持ちゆるやかにつながり続ける“循環する仕組み”へ育てます。高齢化が進む北広島団地地区では、日常的な声かけや顔の見える関係が孤立予防や安心の基盤となります。世代や障がいの有無を越えて自然に出会い支え合える場として、ふれては地域に寄り添い続けます。築いてきた「つながり」をさらに深め、支え合いが循環する拠点へ。地域の未来をともにつくる仲間として、今年度も一歩ずつ歩みを進めます。

デイホームかたる

お客様の声を形に！笑顔あふれる「かたる」 の新たな取り組み

「今年度」のデイホームかたるは､お客様に今まで以上に大きな楽しみを一層感じていただけるよう、アンケートで寄せられた声をもとに新たな取り組みを始動しました。私たちの「今」の取り組みとしては、入浴時間にBGM流す癒やしの空間づくりや普段入浴されない方向けに足浴による温浴効果・浮腫み解消の取り組みを実施していて、好評をいただいています。今後はスイーツバイキング、少人数でお出かけする外出行事なども計画中です。これからも、お客様の笑顔を引き出し、ご家族や地域の皆様に安心してお任せいただけるよう、温かく活気ある居場所づくりを進めてまいります。



北広島市みなみ高齢者支援センター

一人ひとりが自分らしく輝ける街づくり





北広島団地地区は高齢化が進む地域ですが、住民の皆様一人ひとりが住み慣れた地域で、自分らしく輝ける街づくりを目指しています。今年度は、地域の中で楽しく体を動かす居場所づくりや、フィットネス施設「tomoni club」に参加させて頂き、心身の健康づくりや新しい趣味の仲間と出会える場を提供します。また、お出かけのきっかけになるような体験会や、認知症の方とそのご家族が気軽に相談・交流できる「心結カフェ」を充実させ、地域の中での温かい横の繋がりを広げていきます。さらに、万が一の行方不明時に地域の力で早期発見に繋げるネットワークづくりを目指し、見守りの輪を強化します。

一人ひとりが自分らしく輝けるように、当支援センターがお手伝いします。いつでもお気軽にご相談ください。みんなで一緒に、温かい暮らしを作っていきませんか？

デイホームさとみ

個別性を大切にした認知症ケア

お客様一人ひとりの思いや生活背景を大切にし、「できること」「続けられること」に目を向けた認知症ケアを実践します。日常の活動や役割を通して、自分らしく穏やかに安心して過ごせる時間を大切にしていきます。

～チームで高めるケアの質～　職員同士で小さな変化を共有し、一人で抱え込まないチームケアを大切にします。業務改善を進めながら、お客様と向き合う時間を大切にし、安心・安全で心地よい環境づくりに努めます。

～地域とともに歩む事業所づくり～　ご家族や関係機関との連携を深め、地域に信頼される事業を目指します。



地域交流や行事参加を通じて認知症への理解を広げ、地域とのつながりを深めながら、安心して暮らし続けられる地域づくりを進めてまいります。

北広島団地地域サポートセンターともに

地域交流事業ともに

地域のつながりを土台に、参加から担い手へひろがる一年に

地域サポートセンターともには、今年度を「地域のつながりをもう一歩進める年」として取り組みます。喫茶や地域食堂、ミニ講座、市民スタッフ活動など、住民が気軽に参加できる場を、今年はさらに“関わりやすく”“役割が生まれやすい”形へ整えていきます。北広島団地では高齢化や単身世帯が増えており、制度につながる前のちょっとした声かけや顔の見える関係が大切です。日常のつながりがあるだけで孤立を防ぎ、安心して暮らせる地域に近づきます。「少し手伝ってみようかな」と思えるゆるやかな担い手づくりも進めます。ともには交流・相談・見守りの拠点として、人と人が出会い役割が生まれ支え合いがめぐる“地域のハブ”をめざします。今年も気軽に立ち寄れ、自然とつながりが広がる場所として地域に寄り添います。



2026年4月オープン

tomoni clubともにクラブ

地域のウェルビーイングを実践する拠点へ

フィットネス事業（tomoni club）は制度外の独自事業として、要介護状態になる前からの予防的アプローチを大切にし、身体･こころ･社会的つながりの3つの側面からウェルビーイングの向上を目指します。単なる運動施設ではなく、「身体を動かす楽しさを実感できる場」「安心して通い続けられる居場所」「人と人とのつながりが生まれる空間」として、地域の健康とつながりを支える存在になりたいと考えています。初年度は、運営体制を整えながら、tomoni clubの価値を地域にしっかり届けていく一年にします。挑戦を前向きに楽しみ、利用者一人ひとりの変化や可能性を一緒に喜び合える文化を育てていきます。福祉の専門性×フィットネス×面白がり力を組み合わせながら、身体の変化を実感できる予防モデルを育て、安心して通い続けられる雰囲気づくりを進めます。さらに、世代ごとの挑戦や交流を広げて社会的なつながりを生み出し、続けやすい運営と新しいチャレンジが両立できる土台を整える一年にしていきます。



サービス付き高齢者住宅しおん

地域のみなさんとともに笑顔あふれる暮らし

「サービス付き高齢者向け住宅しおん」では、現在31室35名のお客様がご入居されています。住宅しおんがある「地域サポートセンターともに」では、地域の皆様と一緒に敷地内の花壇や畑で花の苗植えや草むしり､野菜や果物の収穫を楽しんでいます。また､ともに内のキッズスペースには、ご家族のお孫さんや曾孫さん、地域の小・中学生も訪れ、にぎやかな笑い声が広がっています。赤ちゃんや子どもたちが来ると、お客様も自然と近寄られ、「かわいいね」「今日はどこから来たの？」と会話が生まれ、人の輪が広がっています。地域の皆様とともに、人と人とのつながりを大切にし、笑顔あふれる暮らしと地域づくりをこれからも進めていきます。





北広島グループホーム四恩園

生きがいを大切にするチームケア

法人創立50周年を迎えるにあたり、これまで大切にしてきた認知症ケアを基盤として、チームケアによる専門性の向上を目指します。認知症介護標準化実践行動指針やACP（人生会議）を活用し、お客様の価値観や思いを共有しながら、多職種と連携した支援を実践していきます。また、地域とのつながりやご家族と一緒に楽しめるイベント、レクリエーション等を通じて、お客様一人ひとりの楽しみや生きがいを大切にし、心身ともに健康で喜びを感じられる暮らしを支援します。お客様、ご家族、職員がともにウェルビーイングを実感できる一年を目指します。





北広島複合型サービス四恩園

「原点回帰」　四恩園のケアはチーム力

法人50周年を迎える今年度は原点回帰をテーマに、美味しい食事、気持ちよい入浴、心地よい排泄ケアを見つめ直し、お客様一人ひとりを深く理解した認知症ケアの実践、地域とのつながりとウェルビーイングの視点を大切にしながら、お客様・ご家族様に喜んでもらえるサービスを提供します。また、通所・宿泊・訪問介護・訪問看護を一体的に提供し、医療との連携で24時間365日の切れ目ない支援を行う市内唯一の事業所として、その人らしい暮らし、ご家族様との在宅生活を支えます。お客様一人ひとりが居心地良い、毎日ワクワクすると感じて頂けるように、チーム複合で頑張って参ります。皆様を心よりお待ちしております。



北広島ホームヘルプサービスステーション四恩園

寄り添う支援と一歩踏み出す気持ちのサポート

ヘルパーステーションでは、お客様が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、チームケアを大切にしています。職員同士が支え合い、多職種と連携しながら、一人ひとりに寄り添う支援を実践しています。また、ヘルパーが安心して笑顔で働き続けられる環境づくりを進め、信頼される人材の育成と仲間づくりにも力を入れています。一歩踏み出す気持ちを大切に、地域活動への参加や外出支援を通して、お客様と地域とのつながりを広げ、これからも笑顔あふれる地域づくりに貢献していきます。



北広島訪問看護ステーション四恩園

地域のホームナースステーションを目指して

在宅医療との連携を強化し、一人ひとりの思いや価値観を尊重しながら、ホームナースとして「より良く生きる」を支援します。

ACP（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）に取り組み、一人ひとりの思いや希望を丁寧に伺います。また、在宅リハビリテーションを通して、一人ひとりの「できる」を大切にし、外出や社会参加につながる支援を行います。

さらに、地域の健康を支える活動としてフットケアや爪切り相談にも取り組み、足の健康を守るとともに、地域とのつながりや生活の質の向上を目指します。





北広島居宅介護支援事業所四恩園

つながりから「周囲に大切にされている」 を実感できる人生をともに





ケアマネジャーは、要介護認定をお受けになった方が様々なサービスなどを利用しながら在宅生活を送れるようサポートします。

私たちケアマネジャーは、「困っても一人じゃない」「自分の居場所がある」「周囲に存在そのものを大切にされる（being）」をその人が感じられる関係形成を大切にします。

また、支援を受ける人が、他人の世話になるばかりではなく、「誰かの役に立てる」「誰かをよろこばせることができる」と感じられる、「支える側」「支えられる側」を超えた関係を形成し、その人がウェルビーイングを感じられるよう人生に伴走します。

地域サポートセンターみなみ

地域交流事業みなみ

地域の皆さまが気軽に集える、身近な場として





障がいのある子どもたちや大人の方々が通所する福祉事業所として、一人ひとりの「自分らしい暮らし」を大切にしながら、地域とのつながりを育む活動に取り組んでいます。

施設には、地域の皆さまに自由にご利用いただける喫茶スペースと活動スペースがあります。喫茶では、日替わり定食をはじめ、そば、カレー、ハンバーグなど、親しみやすいランチメニューを手頃な価格でご用意し、コーヒーやソフトクリームなども楽しんでいただけます。時間を気にせず、ゆっくり過ごしていただけることもあり、定期的に足を運んでいただく方も多くなっています。施設の通所サービスを利用されている方々も、昼食後に仲間同士でコーヒーやソフトクリームを楽しむなど、思い思いの時間を過ごされています。

また、地域の中での出会いや交流を目指し、地域イベントへの参加や、利用者の皆さんが心を込めて制作した手芸品の販売なども行っています。夏休みや冬休みには、利用者の皆さんが先生役となり、地域のお子さんを対象とした制作体験会の開催など、障がいのある方が「支援される側」だけではなく、地域の皆さんに何かを伝えたり、一緒に楽しんだりする存在として活躍できる機会を大切にしています。

障がい福祉サービス事業所みなみ

みなみ10周年　これからも「みなみらしく」







障がい福祉サービス事業所みなみには、さまざまな障がいをお持ちの方が毎日元気に通われています。入浴やリハビリ、生産活動、レクリエーションなど、一人ひとりのご希望やペースを大切にしながら、「今日もみなみに来てよかった！」と思っていただけるようなサービスを提供しています。

おかげさまで、みなみは開所10周年を迎えました。これまで支えてくださったお客様、ご家族、地域の皆様、関係機関の皆様に心より感謝申し上げます。たくさんの笑顔と出会いに支えられた10年を力に、これからも「みなみらしく」、一人ひとりに寄り添い、楽しく安心して過ごせる事業所を目指してまいります。

障がい児通所支援事業所みなみ

安心ケアの中で楽しく笑顔あふれる毎日を

法人の中で唯一子どものデイサービスです。日々、リハビリ・音楽・絵本・お散歩・ゲーム・製作（季節事）等、長期休みはお友達と外出レクに行く事もあります。遊びを通して療育を行っています。みなみ畑では作物を植えて成長の過程を子ども達と一緒に観察し収穫の楽しさを学んでいます。毎日とても賑やかなお部屋です。みなさん遊びに来てください。



絵本・紙芝居が大好きです。ボランティア「ひびき」さんが毎月、1週間楽しい絵本を読んでくれます。情緒の安定・集中力を養っています。子ども達は心待ちにしています。



みなみ畑の種まきしましたよ。畑で作物を育てる事により、土や植物に触れる事でリラックスしたり、作物が成長する過程を学んでいます。秋の収穫が楽しみです。





製作を通して、子ども達の「好き」を伸ばしていきます。好きな色・形・貼ったり・切ったりetc…できた作品をお部屋に飾ってみんなで楽しみます。

障がい者生活支援センターみらい

自分らしさを発揮できる場づくり

北広島市から委託を受け市内全域における障がいのあるお子様～成人の方々の生活全般に関する相談支援事業、また、福祉サービス利用に関わる計画書を作成する特定相談支援事業・障害児相談支援事業行っています。

日々の暮らしを豊かにするためニーズに合わせた資源の活用に関わるサポートはもちろんのこと、ひとりひとりが孤立せずに自分らしさを出せる場の提供のため「こころの交流会」の定期開催や「アートは自由だ！展」を毎年秋に北広島市役所市民ギャラリーで開催しています。



こころの交流会「スイーツの会」スイーツ好きが集まり、自分の好きなようにデコレーションして美味しく頂きました。



こころの交流会「ガンダム」ガンダム好きが集まり推しのガンダムキャラクターの話で盛り上がります。今回はみんなで指と絵具を使って好きなように色塗りを楽しみました。



「アートは自由だ！展」開催会場です。毎年10月後半に1週間ごと前期後期に分けて作品を入替、開催します。作家さんは障がいのある方、高齢の方々です。日頃から絵を描くことを生きがいにされている作家さんたちの個性溢れる多数の作品を見て頂ければ幸いです。

2026年7月オープン

サービス付き高齢者向け住宅みやび

安心して生活できる住まいを

2026年7月1日から事業承継し運営を開始した、サービス付き高齢者向け住宅「みやび」です。承継時にはいくつか空室がありました。法人内関係事業所の支援・協力もあり、7月10日（金）～12日（日）に開催した内覧会では40名程のお客様が来場、最終日には最後の空室もご契約いただきました。8月中には新たにご入居されるお客様の顔揃い、9月には満床となりました。引き続き、ご入居いただいているすべてのお客様に、これからも安全に安心して生活いただけるよう、更に法人が運営する他のサービスとシームレスなつながりを活かしながら、職員一丸となって取り組んでいきたいと思います。



第一号第一様式

法人単位資金収支計算書

（自）令和７年４月１日（至）令和８年３月31日

（単位：円）

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)－(B)	備考
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	791,766,000	784,439,583	7,326,417	
		老人福祉事業収入	60,042,000	61,098,239	△ 1,056,239	
		障害福祉サービス等事業収入	634,963,000	623,125,829	11,837,171	
		医療事業収入	23,820,000	22,224,215	1,595,785	
		その他の事業収入	12,495,000	23,558,207	△ 11,063,207	
		フィットネス会費収入		414,150	△ 414,150	
		経常経費寄附金収入	3,000,000	3,100,000	△ 100,000	
		受取利息配当金収入	265,000	559,368	△ 294,368	
		その他の収入	8,686,000	12,450,456	△ 3,764,456	
		事業活動収入計（1）	1,535,037,000	1,530,970,047	4,066,953	
	支出	人件費支出	1,077,449,000	1,087,340,494	△ 9,891,494	
		事業費支出	251,016,000	250,387,032	628,968	
		事務費支出	118,261,000	107,319,840	10,941,160	
		利用者負担軽減額	80,000	165,898	△ 85,898	
		支払利息支出	3,743,000	3,133,847	609,153	
		その他の支出	56,000	53,533	2,467	
		事業活動支出計（2）	1,450,605,000	1,448,400,644	2,204,356	
	事業活動資金収支差額（3）＝（1）－（2）		84,432,000	82,569,403	1,862,597	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	14,842,000	14,537,164	304,836	
		固定資産売却収入	35,300,000	35,324,973	△ 24,973	
		施設整備等収入計（4）	50,142,000	49,862,137	279,863	
	支出	設備資金借入金元金償還支出	36,324,000	36,318,000	6,000	
		固定資産取得支出	20,862,000	20,374,294	487,706	
		ファイナンス・リース債務の返済支出	6,350,000	5,074,493	1,275,507	
		施設整備等支出計（5）	63,536,000	61,766,787	1,769,213	
	施設整備等資金収支差額（6）＝（4）－（5）		△ 13,394,000	△ 11,904,650	△ 1,489,350	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	1,770,000	17,083,616	△ 15,313,616	
		その他の活動による収入	500,000	850,000	△ 350,000	
		その他の活動収入計（7）	2,270,000	17,933,616	△ 15,663,616	
	支出	長期運営資金借入金元金償還支出	7,815,000	6,296,000	1,519,000	
		積立資産支出	52,190,000	66,397,200	△ 14,207,200	
		その他の活動による支出	630,000	820,000	△ 190,000	
		その他の活動支出計（8）	60,635,000	73,513,200	△ 12,878,200	
	その他の活動資金収支差額（9）＝（7）－（8）		△ 58,365,000	△ 55,579,584	△ 2,785,416	
予備費支出（10）			12,432,000	－	12,432,000	
当期資金収支差額合計（11）＝（3）＋（6）＋（9）－（10）			241,000	15,085,169	△ 14,844,169	

前期末支払資金残高（12）	320,979,719	335,821,339	△ 14,841,620	
当期末支払資金残高（11）＋（12）	321,220,719	350,906,508	△ 29,685,789	

この広報誌のアンケートにご協力をお願いします。こちらから⬇

●発行者　社会福祉法人 北海長正会
●住　所　〒061-1153
北広島市富ヶ岡509-31
●ＴＥＬ　四恩園　(011)373-6655
こえる北広島　(011)373-1711
●ホームページ　https://www.shionen.or.jp
https://kitariha.net
●編集発行　広報委員会
●編集発行責任者　理事長　三瓶　徹
●発行日　2026年11月